

会議録

会議の名称	令和6年度第3回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時 (当初の予定日)	令和6年11月20日(水)午後2時
開催場所	前原暫定庁舎 A会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 • 一部不可 • 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	別紙のとおり
会議結果	
発言内容・ 発言者名(主な発言要旨)	
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和6年度第3回食育推進会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 進捗状況調査結果について
- (2) 食育 HP 委員会より (報告)

3 その他

4 閉会

小金井市食育推進会議委員名簿

令和6年11月20日

No.	選出区分	氏名
●市民（5人）		
1	公募市民	牧野 まや まきの
2	公募市民	雀部 かおり ささべ
3	公募市民	太田 篤胤 おおた あつたね
4	公募市民	三毛 明人 みけ あきと
5	公募市民	横山 英史子 よこやま えりこ
●学識経験者（2人）		
6	実践女子大学生活科学部食生活科学科准教授	山岸 博美 やまぎし ひろみ
7	野菜料理研究家	松嶋 あおい まつしま
●関係機関の役員又は職員（7人）		
8	小金井市立小金井第二中学校栄養士	長谷川 郁子 はせがわ いくこ
9	小金井市立小中学校 P T A 連合会	北脇 理恵 きたわき りえ
10	小金井市社会福祉協議会	井上 正子 いのうえ まさこ
11	東京都小金井歯科医師会	服部 聰 はっとり さとし
12	小金井市農業振興連合会	高橋 健太郎 たかはし けんたろう
13	東京むさし農業協同組合小金井支店	大石 和孝 おおいし かずたか
14	小金井市商工会	藤澤 弘 ふじさわ ひろし
●関係行政機関の職員（1人）		
15	東京都多摩府中保健所	山田 五月 やまだ さつき
●市の職員		
16	小金井市福祉保健部長	大澤 秀典 おおさわ ひでのり

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和5年度実施分）

※1 自己評価(対前年進捗度)について
A=充実・強化(事業を新たに実施した。また、充実した。)

B=前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）

D=未着手（該当事業に取り組まなかつた。）

No.	番号	事業名称	事業の内容	令和4年度進捗状況		令和5年度進捗状況						担当課 ごみ対策課									
				令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (对前半 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (对前半 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
34	7	フードライブ	家庭で余っている食品を地元団体へNPO団体・社会福祉協議会を通して、福祉施設等に届ける。食品ロスを削減する。	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内福利施設等に回収。今後も利用者が大さを挙げて周知啓発を継続実施していく。	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内福利施設等に回収。今後も利用者が大さを挙げて周知啓発を継続実施していく。	B	実施回：12回 参加人数：延べ203人、 食品回収量：392.7kg	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内福利施設等に回収。今後も利用者が大さを挙げて周知啓発を継続実施していく。	B	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内福利施設等に回収。今後も利用者が大さを挙げて周知啓発を継続実施していく。	B	○	○	○	○	○	○	○	ごみ対策課		
7	8	食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度	食品ロス削減へ関心している飲食店等は協力店事業所として認定して、食品ロス削減の必要性についての理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携を深める方策を促進する。	食品ロス削減への意識を定めて整理する事、認定店認定事業所において多くのメリツをつかう、市民への理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力ををして食品ロスの削減に向け取組を促進する。	食品ロス削減への意識を定めて整理する事、認定店認定事業所において多くのメリツをつかう、市民への理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力ををして食品ロスの削減に向け取組を促進する。	B	認定店23件	昨年よりもむしろ物の2件となり、市内飲食店に少ない実品ロス削減率への協力体制がは、小金がわざけへの出品が依然として少ない、店舗側への出品促進も促していく。	B	昨年よりもむしろ物の2件となり、市内飲食店に少ない実品ロス削減率への協力体制がは、小金がわざけへの出品が依然として少ない、店舗側への出品促進も促していく。	B	○	○	○	○	○	○	○	ごみ対策課		
8	9	食品ロス削減期間の取組	日常生活の中で無理なく実感できる食品ロスに対する取り組みを購入する場合は、手前でいい物があるの状態が近い物から市内セブン-イレブン全店への手前どりPOPの提示により、ドリンクの掲示などを促進し、ドリンクの販売額などを高い。時に食品ロスを意識する同一の食品ロスを意識する同一の商品を意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	日常生活の中で無理なく実感できる食品ロスに対する取り組みを購入する場合は、手前でいい物があるの状態が近い物から市内セブン-イレブン全店への手前どりPOPの提示により、ドリンクの販売額などを高い。時に食品ロスを意識する同一の商品を意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	日常生活の中で無理なく実感できる食品ロスに対する取り組みを購入する場合は、手前でいい物があるの状態が近い物から市内セブン-イレブン全店への手前どりPOPの提示により、ドリンクの販売額などを高い。時に食品ロスを意識する同一の商品を意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	B	市内セブン-イレブン全店への手前どりPOPの掲出1回 (6月の環境月間に開催)	POPの掲示場所が冷蔵コーナーであるところから、令和5年度は6月の環境月間にPOPを配布したり、6月以降も活用していく予定だ。	B	今後は、セブン-イレブンや協力店以外の店舗に食資源を大切にするための店舗に協力してはどうなさい。	B	今後は、セブン-イレブンや協力店以外の店舗に食資源を大切にするための店舗に協力してはどうなさい。	○	○	○	○	○	○	○	○	ごみ対策課

事業名稱	事業の内容	令和4年度実績状況		令和5年度実績状況		令和6年度実績状況		担当課
		令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和6年度事業実績 (具体的な数値等)	
1 食育市民アンケート調査	市民の食育の実態を把握するため、本計画終了前年度に実施する。	次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなつたらアンケート項目などを指定と合わせていただきたい。	市民アンケート調査は策定の前年に実行したが、令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (前年 達成度) ※1	自己評価 (前年 達成度) ※1	自己評価 (前年 達成度) ※1	自己評価 (前年 達成度) ※1	担当課
2 “Koganei-Style” の地域展開	市内小中学校との相互リンク活動	市内小中学校との相互リンク活動	市内小中学校との相互リンク活動	市民アンケート調査は策定の前年に実行した。	②情報の整備	次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなつたらアンケート項目などを指定と合わせていただきたい。	自己評価 (前年 達成度) ※1	担当課
3 食育ホームページ	市民がオンラインによる情報収集、健康講習等を通じて、新規会員登録するため、新規会員登録及び健康講習の登録を実現する。	市民がオンラインによる情報収集、健康講習等を通じて、新規会員登録するため、新規会員登録及び健康講習の登録を実現する。	市民がオンラインによる情報収集、健康講習等を通じて、新規会員登録するため、新規会員登録及び健康講習の登録を実現する。	A	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	○	健康課
4 地場野菜等の情報提供	関係各課の食育に関する事業市報に掲載する事業や、各児童館の食育情報を紹介する。	関係各課の食育に関する事業市報に掲載する事業や、各児童館の食育情報を紹介する。	関係各課の食育に関する事業市報に掲載する事業や、各児童館の食育情報を紹介する。	A	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	○	健康課
5 食育ホームページ	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の情報提供	B	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	市報等への掲載及び令和3年度に作成した「延先直売所マップホームページ掲載により、市民への周知に努めた。	○	経済課
6 食育ホームページ	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその季節に応じたレシピの記事を掲載する。	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその季節に応じたレシピの記事を掲載する。	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその季節に応じたレシピの記事を掲載する。	A	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその季節に応じたレシピの記事を掲載する。	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその季節に応じたレシピの記事を掲載する。	○	健康課

No.	頁 番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進歩状況		令和5年度進歩状況						担当課 保育課					
				令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (对前半 ※1)	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (对前半 ※1)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
32	38	1	年間食育計画をもとにした食育	食育計画や年間行事計画を作成し、子どもたちと食を共にするところから、食-食を大切にするところ、食-絵画による計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	年間を通して取り組んでいく。 今後も継続して取り組んでいく。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食二食を大切にすること、その後も継続して取り組んでいく。	年間の計画を今後も継続して取り組んでいく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
33	38	2	収穫体験	農業体験として園児が収穫して食べべる。イモを、調理して食べ。	農家の力による半ばりや園庭で育てた野菜を子どもが収穫体験し、それらの収穫から公立小学校各学年へ届け、生産者の感謝や食に対する興味が広がった。	B	農家の協力による半ばりや園庭で育てた野菜を子どもが収穫体験し、それらの収穫から公立小学校各学年へ届け、生産者への感謝の気持ちが広がった。	今後も継続して取り組んでいく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
34	38	3	給食により	給食によりを配布し、掲示する毎日、給食によりを送行し、保護者の食に対する不理解や家庭での食育の実践を行つた。	保護者が食に対する興味を持てるよう、今後もさらに内容を充実していく。	B	毎日、給食によりを送行し、保護者が食に対する不安感を抱くよう情報提供を行つた。	保護者が食に対する不安感を抱くよう、今後もさらに内容を充実していく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
35	38	4	クッキング保育	園児がクッキング体験をし、その大切さを学ぶ。	新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、可能な範囲で実施した。	B	公立保育園も園児の調理保育を実施した。食の文化、調理過程や器具の使い方等を伝えることができた。	公立保育園も園児の調理保育を実施した。食の文化、調理過程や器具の使い方等を伝えることができた。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
36	38	5	食物アレルギー等の個別相談	食物アレルギー等が必要に応じて保護者と個別に相談し、給食に反映させること。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に相談面談を行い、医師による生活管理指導に基づいた対応で給食に反映させた。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に相談面談を行い、医師による生活管理指導に基づいた対応で給食に反映させた。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に相談面談を行い、医師による生活管理指導に基づいた対応で給食に反映させた。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
37	38	6	栄養士による講座	出前市立保育園の栄養士が児童館に出向き、食育相談を行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	B	児童館で職員相談を行つた。(1回)	今後も継続して取り組んでいく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
38	38	7	生産者・食材納品業者等との交流	地域の生産者・食材納品業者の方に芋🍠や見学者の方に芋🍠などを販売される。芋🍠の実物が見られるよう試食会を実施する。	例年、地域の子育て中の人に対象に、全5箇園で園内開放利用者や見学者の組合せによる芋🍠、給食の材料として利用した。また、芋🍠も振り5園につきまいも振り5園	B	地元の子育て中の人に対象に、園庭開放利用者や見学者の組合せをして芋🍠を販売し、より充実したものにしていく。	地元の子育て中の人に対象に、園庭開放利用者や見学者の組合せをして芋🍠を販売し、より充実したものにしていく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
39	38	8	地域向け食育活動	離乳食、幼稚食、アレルギー等に対応できる食育相談会を開催する。	新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、事業の実施について検討する。	C	地域の子育て中の人に対象に、園庭開放利用者や見学者の組合せをして芋🍠を販売し、より充実したものにしていく。	地域の子育て中の人に対象に、園庭開放利用者や見学者の組合せをして芋🍠を販売し、より充実したものにしていく。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課
40	38	9	地域連携の推進	私立の保育所・幼稚園などの連携を推進する。	保健センター(健診課)の管理栄養士との連携をより深め、保育園での活動など情報を交換する。学校栄養士との情報交換を目的とする。	B	保健センター(健診課)の管理栄養士との連携をより深め、保育園での活動など情報を交換する。学校栄養士との情報交換を目的とする。	保健センター(健診課)の管理栄養士との連携をより深め、保育園での活動など情報を交換する。学校栄養士との情報交換を目的とする。	B	○	○	○	○	○	○	○	保育課

No.	番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進捗状況		令和5年度進捗状況						担当課					
				令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (前半 後半 ※1)	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (前半 後半 ※1)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
44	39	1 学校における食育の推進と情報発信	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する企画画面を作成し、積極的に食育の推進を図る。	職員の間見学など一部基場が困難なものもあるが、食に関する企画画面も、どのようにして作成するかを学習や授業で野菜を育てる体験学習などを実施した。	これまで教師が困難だった学習活動について、ICT端末を用いて、直接体験の代替学習を実施した。学習に対する意欲が高くなったり、食育が継続されたため、食育の目標が達成が困難なものもあった。	B	食に関する企画画面をもとに、社会的課題を育むため、各教科や理科の野菜を育てる体験学習などを実施した。食育の意識が高まることで、食育が継続されたため、食育の目標が達成が困難なものもあった。	感染防止等に配慮しながら体験学習のさらなる充実を図るために、社会的課題を育むため、各教科や理科の野菜を育てる体験学習などを実施した。食育の意識が高まることで、食育が継続されたため、食育の目標が達成が困難なものもあった。	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室
45	39	2 給食を通じた食育	栄養教諭・食育リーダー会員を中心とした、授業や給食委員会による企画活動・日々の給食を通して、学生に食育に関する企画活動を行った。	教員会より食育に関する様々な資料を配布し、引き続き学校に有する全体会議の改組ごと努め、各校の企画及び課題審査を進めています。	教員会より食育に関する企画活動の改組ごと努め、各校の企画及び課題についての情報共有を行った。	B	食育リーダー会を開催し、食に関する企画の作成について、各校の取組及び課題審査を行った。	教育委員会より食育に関する様々な資料を配布した。引き続き学校に有する全体会議の改組ごと努め、各校の企画及び課題についての情報共有を行った。	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室
46	39	3 地域と交流した食育活動	給食により・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と交流している実施である。引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との交流については、授業の実施している学校がある。引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、授業の実施している学校がある。引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	地域の生産者等との交流については、引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者等との交流については、引継ぎ指導室として実施できるよう、小中学校の生産者等との連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室
47	39	4 家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう等の情報提供を充実させる。	望ましい食習慣の取組ができるよう等の情報提供を充実させる。	望ましい食習慣の取組ができるよう等の情報提供を充実させる。	A	小中学校全14校で給食により毎月発行している。	今後も継続していく。	A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室
48	39	5 栄養講習会（親子ファミリーカフェ教室）	小学生との保護者を対象に、生活習慣病予防につながるテーマについて講義・実習・試食を行う。	令和5年度に引き続き、同内容で年のみ変更し、年令に合わせたり、講義体験どちらかが選べるよう、実習・試食を行った。今後も継続する予定である。	令和5年度に引き続き、同内容で年のみ変更し、年令に合わせたり、講義体験どちらかが選べるよう、実習・試食を行った。今後も継続する予定である。	B	実施者数：園子組(大人3人子ども3人)予約は5組だったが、キャンセルがあつた。	BSは3～4年生対象で講義と講義体験とコロナ後初めて試食を行った。今後も継続する予定である。	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室・学務課

No.	頁	番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進捗状況		令和5年度進捗状況						担当課							
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
49	39	1	食育指導 (学童保育所)	生涯にわたる食育推進	②学齢期の食育推進	イ学童保育所・児童館　ワ公民館	B	日常のおやつの中では別に特に気にしない。マナーはどちらも季節に応じた食を提供する。また同時に、食べる方を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	各学童保育所ごとに毎日おやつと食を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	A	日常のおやつの中では手洗い、マナーはどちらも季節に応じた食を提供する。また同時に、食べる方を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはどちらも季節に応じた食を提供する。また同時に、食べる方を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	○	○	○	○	○	○	○	男童青少年課
50	39	2	理教室 (児童館)	主に小学生から中・高校生までを対象として手作りを基本とした料理教室を行っており、方を指導し、食を共にしながら地場野菜等を通じて消費者との交流や環境に配慮した料理教室等を実施する。	【本町児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(4回/91人) ・高学年グループ(1回/10人)	【東井南児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(4回/74人) ・低学年グループ(4回/42人) ・高学年グループ(1回/11人) ・低学年グループも盛り(2回/88人) ・高学年グループも盛り(2回/24人)	B	各学童保育所ごとに毎日おやつと食を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	各学童保育所ごとに毎日おやつと食を意識する。マナーまで幅広く力を発揮している。	A	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	○	○	○	○	○	○	○	男童青少年課
			【東井南児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(4回/52人) ・低学年グループ(2回/19人) ・高学年グループ(1回/7人) ・春の遊びうんこまつり(1回/46人) ・スペニス@スクイ(1回/5人) ・ティーンズ合宿(1回/17人)	【東井南児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(2回/32人) ・高学年グループ(3回/45人) ・高学年グループ(2回/15人)	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	A	次年度は感染予防を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。	次年度は感染予防を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。	A	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	○	○	○	○	○	○	○	男童青少年課
			【東井南児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(2回/30人) ・低学年グループ(2回/55人) ・高学年グループ(2回/287人) ・高学年グループ(12回/183人) ・ロビンソンソングラフ(3回/40人) ・お菓子作り(2回/26人) ・夏の野外料理教室会(1回/8人) ・ロビンソンソングラフ(3回/30人) ・夏季大会(1回/30人)	【東井南児童館】 各種理教室等 ・幼児グループ手作り(2回/30人) ・低学年グループ(2回/55人) ・高学年グループ(2回/287人) ・高学年グループ(12回/183人) ・ロビンソンソングラフ(3回/40人) ・お菓子作り(2回/26人) ・夏の野外料理教室会(1回/8人) ・ロビンソンソングラフ(3回/30人) ・夏季大会(1回/30人)	次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	次年度についても同内容・規模で引き続き取り組んでいく。	A	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	A	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	新規コロナウイルス感染症の影響で開催や実施が止めた事業をコロナ禍以前の形式、規模にて実施した。	○	○	○	○	○	○	○	男童青少年課

No.	頁	番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進歩状況		令和5年度進歩状況		効果があつたと思われる 食育の視点※2		担当課					
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和6年度以降の課題、対策等	自己評価 (前年度 実施度)	自己評価 (前年度 実施度)						
51	40	1	生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進	職場体験活動など一部実施が困難なものもあつたが、食に関する全体会員をもとに、保健体操の健全な身心の成長を図るために、より実施を進める。ICT端末を用いて直接体験の代替学習による研究で、実践するよう指導する。IC端末を用いて直接体験の代替学習を行った。コロナ禍において、黙食が継続されたため食育の目標達成が困難なものもあつた。	これまで体験活動が困難だった学習活動について、感染防止等に配慮しながら実施していく。ICT端末を用いて直接体験の代替学習による研究で、実践するよう指導する。IC端末を用いて直接体験の代替学習を行つた。	自己評価 (前年度 実施度)	食に関する全体会員をもとに、保健体操の健全な心身の成長を図るために、身の成長を図るために、実習や家庭科の講義実習などを実施した。	感染防止等に配慮しながら実践する。IC端末を用いた学習についてさらに、実践するよう指導する。学習の目標達成に向けて給食指導の充実に努めたい。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	指導室
52	40	2	給食を通じた食育 「再掲」	栄養教諭・食育リーダー会議を中心とした食育と情報発信を行つた。	給食リーダー会議で検討・作成したりーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行つた。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行つた。	食育リーダー会で検討・作成したりーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	A	○	○	○	○	○	○	学務課・指導室
53	40	3	地域と交流した食育 「食活動再開」	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B	○	○	○	○	○	○	学務課・指導室
54	40	4	家庭と協働した食育支援(再掲)	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だいり小学校全14校で給食だいりを毎月発行し、今後も継続していく。	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だいりを毎月発行し、今後も継続していく。	小中学校全14校で給食だいりを毎月発行している。	小中学校全14校で給食だいりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	○	○	○	学務課
55	40	5	ミニパンフレットによる情報発信	青年期向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、開催機関に配布する。	青年期向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、開催機関に配布する。	青少年向けミニパンフレットを成人式に750部記念品として用意した。	青少年向けミニパンフレットを成人式に750部記念品として用意した。	青少年向けミニパンフレットを昨年と同じものを成人口に750部記念品として用意した。	B	○	○	○	○	○	○	健康課

No.	頁	番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進捗状況		令和5年度進捗状況		効果があつたと想われる 食事の視点※2		担当課
					令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	令和5年度事業実績 (具体的な数値等)	令和5年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	
56	41	1	栄養講習会	生涯における食育推進	③青年期から高齢期の食育推進	成年・高齢者の食育推進	B	B	○	○	健康管理課
57	41	2	栄養講習会	生活習慣病や健脾づくりに関するテーマを設定し、テーマごとに開催する。また、栄養講義や副題実習を行なう。	月1回の決められた日毎にくるのは、難しいといった児童もあり、開きたいときは電話で問い合わせたい方が多い。電話や窓口に来て、可能な限りお話を8件だった。	実施回数：9回 実施者数：12人	実施回数：9回 実施者数：11人	実施回数：9回 実施者数：12人	○	○	健康管理課
58	41	3	健康づくりワーカーアップ指導教室	糖尿病や骨盤など、個人のニーズに合わせた栄養に關わる講義とデモを行なう。	糖尿病や骨盤など、個人のニーズに合わせた栄養に關わることに対する意識の啓発を行うことである。	定員は昨年開催10人、講義とデモがつづくことでも珍しくなかった。	B	B	○	○	健康管理課
59	41	4	特定保健指導	特定保健診査において生活習慣病を発病するリスクが高い傾向となつた方に対する特定保健指導を行なう。これは、特定保健指導の利用者が増加したことによる。また、早期発見、早期受診による効果的な治療を支援する。	骨盆矯正指導教室：7人 骨盆矯正指導教室：8人 骨盆矯正指導教室：10人 骨盆矯正指導教室：9人（大人と子ども5人） 骨盆矯正指導教室：8人 計58人	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な勉強は行つない。令和4年にコロナ禍が緩和されれば、積極的な勉強を行なう予定である。	B	B	○	○	健康管理課
60	41	5	成人学校	特定保健診査において生活習慣病を発病するリスクが高い傾向となつた方に対する特定保健指導を行なう。これは、特定保健指導の利用者が増加したことによる。また、早期発見、早期受診による効果的な治療を支援する。	骨盆矯正指導教室：7人 骨盆矯正指導教室：8人 骨盆矯正指導教室：10人 骨盆矯正指導教室：9人（大人と子ども5人） 骨盆矯正指導教室：8人 計58人	特定保健診査において生活習慣病を発病するリスクが高い傾向となつた方に対する特定保健指導を行なう。今後も特定保健指導の利用者が増加することによる。また、早期発見、早期受診による効果的な治療を支援する。	B	B	○	○	健康管理課
61	41	6	「栄養教室」	【目的】頑に汗しながら士官として野菜づくりの実習を行なう。【内容】野菜づくりの実習を通じて、野菜を育てる喜びを学ぶ。【実施】4月6日～令和5年3月8日延べ参加者31人。	食に関する様々なテーマを取り上げた講義等を開催する。	A	合和5年5月10日～令和6年3月6日 原則毎週水曜日実施（全40回） 延べ参加者40人。	合和5年5月10日～令和6年3月6日 原則毎週水曜日実施（全40回） 延べ参加者40人。	○	○	公民館

第4次小金井市生涯学習推進計画中の
「公民館活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けてい
る。令和5年度は20人で2種類の野菜を育て、野菜のつくる喜びを体験した。

No.	頁 番号	事業名稱	事業の内容	令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況			効率があつたと思われる 食育の視点※2			担当課				
				令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (前半 進捗度) ※1	令和5年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (後半 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
5 計画の推進に向けて																	
(1) 施策の推進体制																	
65	42	1 食育推進会議	食育推進会議を継続して開催し、本計画の進捗状況を検証するなどもとに、必要な推進策を検討する。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していただきたい。	B	令和5年度は予定回数（4回）を行うことができた。今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していただきたい。	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課	
66	42	2 食育コードイニシアッタの設置	食育に関する関係機関等との連携を促進する。	令和4年度活動状況：5件 件件引き続き、コロナ禍を反映している せいか、依頼が少なかつた。	今後も引き続き継続していく。 昨年に引き続き、コロナ禍を反映しているせいか、依頼が少なかつた。	B	令和3年度活動状況：3件 顧客が少なかつた。	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課	
67	42	3 食育推進検討委員会	市の食育推進事業の円滑な推進を図るため、関係機関による食育推進計画の進捗状況調査について書面調査を実施する。	計画策定生じて期間のある時は、今年度の 方法で開催してもらいたい。 実施。	食育推進計画の進捗状況調査について書面調査を1回実施。	B	来年度も同様に開催したい。	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課	
68	42	4 大学等との連携	若年層に対する対策及び食育に關する実験等の総合的な研究開発事業の連携を推進する。	令和5年度に東京都多摩部中保育所主催の北 多摩部地域栄養・食生活ネットワーク会 議（保健師、学識経験者、市町健康官職員、 関係施設職員）において若者向け水養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	令和5年度に成入式で750人参加の会議・ 講演者、市町健康官職員、関係施設職員（保健師、学識経験者、市町健康官職員）にはおいて若者向け水養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	B	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課		